

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20360
事業名	里親制度促進費					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 家庭支援課			電話番号	011-622-8619
施策名	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸び					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	児童の代替養育は児童養護施設が中心だったが、より家庭に近い環境で特定の大人との愛着形成を行うことがその後の児童の成長過程に良い影響を及ぼすとされ、平成28年児童福祉法改正では家庭養育優先の原則を明確化し、里親委託の推進及び里親支援が都道府県業務とされた。国の示す里親委託の推進及び目標委託率2029年55. 9%の達成に向け、リクルートにより新規里親登録者を増やすと共に里親向け研修及び訪問支援等により里親養育の質の向上と安定化を図り、本市における社会的養護の児童の里親等委託を推進する。								
	事業内容（何を実施し）	○概要 札幌市における要保護児童の里親等委託率を増加させるため、里親制度の普及啓発を進めると共に、里親養育の質の向上及び安定を目的とした研修、里親の相互交流を通じた養育技術の向上、里親宅への家庭訪問による養育支援を行う。 ○R5年度取組 ・新規里親登録研修を年8回開催し、計67世帯92人の里親が新たに登録。 ・新たに72名の要保護児童が里親、ファミリーホームに委託され、里親等委託率が39. 2%となった。								
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	里親制度の普及啓発や里親支援事業を行い、要保護児童を受託する里親の新規開拓や里親養育の質の向上と安定化を図る。								
	他都市の状況	全ての政令指定都市で、里親に関する普及啓発、相談・情報の提供・助言・研修その他の援助を行っている。								
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外								
令和4年度決算額		51,393 千円		うち特定財源	33,444 千円		正規職員業務量	5 人工		
令和5年度予算額		56,000 千円		うち特定財源	36,793 千円		正規職員業務量	5 人工		
令和5年度決算額		54,652 千円		うち特定財源	34,467 千円		正規職員業務量	5 人工		
令和6年度予算額		63,000 千円		うち特定財源	41,372 千円		正規職員業務量	5 人工		
指標	アウトプット活動指標1		里親等委託率				という活動、業務を行うことで			
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定		
			37.40%	38.00%	39.20%					
	↓									
	アウトカム成果指標1						という状態にしたい、成果を挙げたい			
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		当市の里親等委託率は順調に増加しているが、里親委託の推進を目指して国が示した基準に達するには、更なる里親のリクルート及び委託促進が必要となる。							
	アウトプット活動指標2						という活動、業務を行うことで			
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定		
	↓									
	アウトカム成果指標2						という状態にしたい、成果を挙げたい			
			令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定		
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方									
今年度の見直し内容	前年度から開始した里親ショートステイモデル事業について対象区を2区→3区に拡大。また、里親訪問支援強化に向け里親対応専門員を1名増。									
来年度以降の方向性	里親支援センターの設置により、当市の里親支援体制の強化を目指す。									